

## ダイハツ、ガイキンドインドネシア国際オートショー2021に 本日発売の新型「XENIA（セニア）」など7台の車両を出展



新型「XENIA」（オプション装着車）



「Rocky」（ショーモデル）

ダイハツ工業（株）（以下 ダイハツ）のインドネシアの現地法人であるアストラ・ダイハツ・モーター（以下ADM）は、11月11日（木）～21日（日）にジャカルタで開催される「ガイキンドインドネシア国際オートショー2021（以下GIIAS2021）」に、本日フルモデルチェンジし発売したコンパクトMPV※1「XENIA（セニア）」など、全7台の市販車やショーモデルを出展します。GIIASは、2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、今年はリアルとオンラインを融合したイベントとして、2年ぶりの開催となります。

新型「XENIA」は、ダイハツの新世代のクルマづくり「DNGA（Daihatsu New Global Architecture）」による初のBセグメントコンパクトカーであり、今回のフルモデルチェンジにあたりプラットフォームを一新しCVTを採用するとともに、初めてFF（フロントエンジン・フロントドライブ）レイアウトを採用しました。コンパクトなボディサイズながら広い室内空間を進化させるとともに、基本性能や安全性能を向上させ、内外装デザインも刷新しました。

GIIAS2021のダイハツブースはエリアを大きく2つに区分し、ファミリーエリアでは新型「XENIA」2台に加え、LCGC対応MPV「Sigra（シグラ）」、SUV「Terios（テリオス）」各1台といった7人乗り3列シート車を、ユースエリアでは今年4月に発売したコンパクトSUV「Rocky（ロッキー）」2台やLCGC対応ハッチバック車「Ayia（アイラ）」1台といった5人乗りコンパクトカー展示します。「Rocky」のうち1台は、「Neo Retro」をコンセプトに、オリジナルカラーやアクセサリでドレスアップしたショーモデルです。

ダイハツは今後もインドネシアをはじめ、アセアンを中心とした各地域での自動車の普及および産業発展、人材育成に貢献し、お客様の生活に寄り添った企業を目指します。

※1：Multi-Purpose Vehicle